

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2009 - 65
研究課題名	非結核性抗酸菌症の臨床経過とその病原菌の遺伝子型との関連
研究期間	西暦 2009 年 6 月（倫理委員会承認後）～2014 年 5 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（喀痰あるいは気管支鏡検査検体から培養同定された非結核性抗酸菌）
上記材料の採取期間	西暦 2000 年 1 月～2009 年 5 月
意義、目的	非結核性抗酸菌症は、結核菌群とライ菌を除いた抗酸菌（非結核性抗酸菌）による肉芽腫性感染症であり、中高年女性に慢性呼吸器感染の病態を呈することが多い。その臨床経過は、菌の血清型によって異なることが報告されている（J Clin Microbiol 2005;43:3150-8）。しかし、非結核性抗酸菌の血清型を調べることは臨床検査室レベルでは困難であり、一般臨床への応用は進んでいない。そこで当該研究では、非結核性抗酸菌の遺伝子型はより簡便な手法で決定することに着目し、非結核性抗酸菌症の臨床経過とその病原菌の遺伝子型との関連を調べる。
方法	非結核性抗酸菌から DNA を抽出し、そのゲノム上に散在する多型縦列反復配列数（Variable Numbers of Tandem Repeats/VNTR）を調べることにより、菌の遺伝子型を決定する。そして、この菌の遺伝子型と、これによって発症した非結核性抗酸菌症患者の診療情報（年齢、性別、既往歴、現病歴、治療経過）との関連を調べる。すなわち当該研究は、診療行為の一環として既に保存してある非結核性抗酸菌と、その菌を排出した患者の診療情報との収集を合わせて行う疫学研究である。
問い合わせ・苦情等の窓口	〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院 呼吸器内科 菊地 利明 Tel (022) 717-8539; Fax (022) 717-8549